

【くるま座】談会

21 世紀のサステナビリティ学を語ろう！

① 【日時】 2015 年 6 月 13 日(土曜日) 13 時~15 時

【内容】 **「21 世紀を生きるためのサステナビリティ学」**

【話題提供】 **三村信男** (茨城大学長・ICAS 前機関長)

② 【日時】 2015 年 7 月 18 日(土曜日) 13 時~15 時

【内容】 **「生態系から学ぶサステナビリティ」**

【話題提供】 **成澤才彦** (茨城大学農学部教授)

③ 【日時】 2015 年 8 月 1 日(土曜日) 13 時~15 時

【内容】 **「生活環境圏のサステナビリティ」**

【話題提供】 **桑原祐史** (茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター准教授)

現在の世界は、地球温暖化、気候変動、食糧問題、エネルギー問題等々が山積しており、持続可能(サステナブル)になっていないという指摘がされています。そのような問題意識の共有により、21 世紀になって生まれたのがサステナビリティ学(持続可能性学)です。茨城大学ではこの諸問題に取り組むために、2006 年に地球変動適応科学研究機関(Institute for Global Change Adaptation Science: ICAS)を立ち上げ、現在、全学部(人文・教育・理・工・農)から約 80 人の研究者が参加しています。私たちは、研究者だけがこれらの問題に取り組めばよいのではなく、多くの市民がその対話の輪に参加して一緒に取り組むことが不可欠だと考えています。今回の講座は、IPCC(気候変動に関わる政府間パネル)の委員を長年勤めてきた三村信男学長を始め 3 人の専門家がその分野の最先端を紹介し、それらについて「くるま座」になって語りあう場を提供します。ぜひ私たちの対話の輪に加わってください。一緒に大いに語りあいましょう！

【コーディネーター】 **伊藤哲司** (ICAS 機関長・茨城大学人文学部教授)

【場所】 茨城大学図書館 1 階ラーニングコモンズ

【後援】 茨城大学地球変動適応科学研究機関 (ICAS)

※申し込み不要、入場無料、どなたでもご参加いただけます。